

9月9日は救急の日



**本当に救急車が
必要ですか？**

年々増加する救急件数の中で、救急車の不適切な利用が問題となっています。

生命に危険が迫っている傷病者を待たせているかもしれません。

救急車の利用について皆さんの理解と協力をお願いします。

**どうしたらいいか分から
なかったら、まず消防署へ**

「自分で病院へ行った方がいいのだろうか?」「どこの病院へ行けばいいのだろうか?」などの相談は消防署でも行なっています。

問い合わせ先 消防署消防課 (☎0848②2101)

9日(水)~15日(火)は救急医療週間です

普通救命講習を受けよう!

目の前で心臓が止まった人がいた場合、その多くは心室細動(心臓が震えて、うまく働かない状態)で、早く心肺蘇生法を始めて、AED(電気ショック)を使うことが救命・社会復帰のために重要とされています。現場にいるあなたの役割は、とても大切なのです。応急手当での正しい知識と技術を身につけるために救命講習を行なっています。

ぜひ一度、受講しましょう。

とき 9月13日(日)9時~12時

受付期間 9月12日(土)まで

ところ 消防署講堂、西部分署、北

部分署

内容 心肺蘇生法、止血法など

受講料 500円

申し込み先 消防署消防課(☎084

8②2101)、西部分署(☎084

8⑧2119)、北部分署(☎084

7②3737)

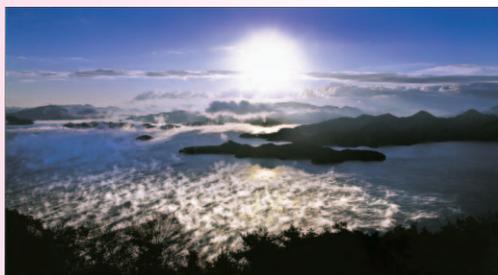


海霧と魅力ある三原 観光写真コンテスト

作品募集

テーマ

三原市を題材としたもの。晩秋から初冬にかけて発生する海霧や三原の四季折々の風景・イベントなど



昨年度の大賞作品
「霧の海」 山上雅治さん

受付期間 来年1月4日(月)~29日(金) (当日消印有効)

応募資格 プロ、アマチュアを問いません

応募規定

○作品は、応募者本人が2008年1月以降に三原市内で撮影した未発表の単写真。

○サイズは、カラー、モノクロ4切(ワイド4切不可)プリントのもの。デジタル写真A4または4切。(合成したものは不可)

○1人で何点でも応募可。入賞、入選は1人1点。

○入賞、入選作品は、フィルム、デジタルデータの提出が必要。

○二重応募、原板の提供がない場合は入賞を取り消します。

○応募作品に人物が写っている場合、必ず本人の承諾を得てください。

出品料 無料

賞 大賞(1人)50万円 金賞(1人)30万円

銀賞(3人)10万円 銅賞(5人)5万円

入選(20人)2万円 佳作(30人)1万円

全日本写真連盟賞

みはら新魅力発見賞(若干名)特産品詰め合わせ(3万円相当)ほか

使用権 入賞作品の第一使用権は主催者に帰属します。入賞作品は、主催者および市が認める広報、ホームページ、記念切手、名刺、ポストカード、観光PRなどに使用します。

選考 来年2月下旬予定

選考結果 来年3月上旬までに、入賞者本人に通知するほか、市ホームページなどへ掲載します。

入賞作品の展示 市民ギャラリー(来年3月下旬予定)

申し込み先 観光文化課(☎0848⑦6014FAX0848④4103)